



潮来市

平成18年 1 月

第120号

議会だより

発行責任者 議会議長 塙 信 一

編集者 議会広報編集委員 〒311-2493 茨城県潮来市辻626 電話0299-63-1111(FAX)0299-80-1100



道の駅 ニューイヤースUNSUNマラソン

第四回定例会

◎あいさつ..... 2～3	◎議員活動日誌..... 18
◎12月定例会概要..... 4～5	◎委員会視察研修報告..... 19
◎平成18年度予算要望..... 6～7	◎議会を傍聴して・編集後記..... 20
◎一般通告質問（10名）..... 8～17	

ごあいさつ



新年のあいさつ

潮来市議会議長

塙 信一

市民の皆様、明けましておめでとうございます。

ここに希望の新春を迎えるにあたり、皆さんのご清福とご繁栄を心からお祈りいたします。

私が、議長に就任しまして二年が経ちました。その間、全国植樹祭の開催や潮来第二中学校新校舎の竣工等、限られた予算の中で大きな事業が進展しました。特に全国植樹祭では、多くの市民の皆様とともに天皇・皇后両陛下を暖かくお迎えし、前川あやめ園の散策をご案内して水郷情緒を満喫していただけたことを市民の一人として誇りに思っているところです。また、「潮来笠」「潮来花嫁さん」のヒット曲を通して潮来の観光に大いに貢献されました歌手の橋幸夫さんと花村菊江さんの記念碑が相次いで建立され、観光名所がまたひとつ増えたことを大変喜んでおります。ご両人には、これからますますご活躍され、「潮来大使」として「水郷潮来」の名前を全国に広めていただけることを大いに期待しております。

さらに本年五月には、旧牛堀第一小学校校舎を大幅に改修して再利活用した待望の市立図書館もオープンします。必ずや牛堀地区の中心街の活性化と小中高生や市民の皆様の交流の場と

なり、知識・文化の向上に役立つものと確信しております。

思い出多い二年間でしたが、議長職を全うできましたことは、これもひとえに皆様のご支援とご協力のたまものと心から感謝申し上げます。

本市においては、国による三位一体改革の流れの中で、依然として厳しい状況下にありますが、日本の景気は踊り場を脱却したのではないかと言われておりますし、これからは徐々にではありますが、明るい展望が開けるものと期待しております。

私も議会といたしましても、地方分権の進展を見据えた議会の活性化を図るとともに少子・高齢化社会に対応した社会福祉の充実、安全で安心な市民生活の確立、教育文化の更なる振興など、市民の皆様の立場にたって大いに議論をしながら、最小の経費で最大限の効果が得られるよう努力してまいります。

新しく迎えた平成十八年を希望に満ちた、飛躍の年にしたいと念願しております。なにとぞ、倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

新年の



新春のあいさつ

潮来市長

今 泉 和

市民の皆様には、希望と期待に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。旧年中は、潮来市政の推進に対し、温かいご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。どうぞ、本年もよろしくお願いいたします。

また、市議会議員の皆様には、地域の発展と住民福祉の向上のためご努力を重ねられていることに対しまして、心から深甚なる敬意と謝意を表する次第であります。

昨年は、「第五六回全国植樹祭」が、当市の水郷県民の森をメイン会場に開催され、豊かな水と木々の緑がまばゆいばかりに輝く水郷路に、天皇皇后両陛下をお迎えできましたことは、誠に光栄に存じますとともに私たち潮来市民に多くの感動を与えてくれました。また、水郷潮来の象徴とも言うべき橋幸夫さんの「潮来笠」にまつわる記念碑が、さらには花村菊江さんの「潮来花嫁さん」の記念碑が建立され、まさに「美しい水郷人が輝く交流舞台」として活気に満ちたところでもございました。

さて今年は、合併して潮来市が誕生してから五周年の節目の年を迎えます。これからも、先人各位が築き上げたすばらしい歴史と文化・伝統を継承し、市民の代表として、市民生活の向上のために市職員的能力を結集して、最小の人員・最小の経費で、最大限の効果をあげられるよう、精一杯努力していく決意であります。

このような中、継続的に実施されております潮来第二中学校改築事業を推進し、教育環境の整備を優先的に進めます。昨年十一月に校舎本体の第一期工事が竣工に至り、速やかに新校舎での授業対応が図られ、本年は第二期工事、そして十九年度に完了すべく、体育館・特別教室などの整備を進めて参ります。

児童生徒の安全確保に向けた取り組みにつきましても、学校やPTAの皆様をはじめ、子ども二〇番の協力者の方々、地域の皆様との連携を図り、警戒活動を強化して参りたいと存じます。

次に、本年五月にオープンを予定しております潮来市立図書館につきましましては、市民の皆様の方々の生涯学習活動のサポート、地域の交流の場として愛される施設となりますよう整備を進めているところでございます。そして、前川運動公園の施設等の整備についても、市民の皆様がスポーツに一層触れ親しまれますよう利用環境の充実を図って参ります。

続いて都市基盤の整備においては、国道五一号バイパスの整備促進に取り組むとともに、潮来市街地と台上戸地区とを結ぶ環状道路をはじめとした主要道路の整備を引き続き進め、日の出地区中央幹線道路等についても、早期改良を目指して努力して参ります。

少子高齢化が進む中、社会福祉では、子育て支援関連事業の推進や制度改正を踏まえ介護保険事業の拡充を図るべく、新たに介護予防事業を加えた地域包括支援センター設置事業に取り組んで参ります。

さらには、前川の排水対策について、国・県一体となって整備を推進して参る所存でございます。

その他、都市基盤・生活基盤の整備はもとより、環境・保健・福祉・文化など各分野において、市民の皆様と連携・協力しながら、安心して暮らせるまちづくりを目指してまいりますので、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

本年が皆様にとって幸多き年でありますようお祈りし、新春のあいさつといたします。

こんなことを決めました

指定管理者の指定など32件の議案等を審議

第4回定例会は、12月6日から15日までの10日間にわたり開催されました。
 主な議案は、条例の制定・改正10件、補正予算5件、指定管理者の指定6件、人事案件1件、請願・陳情の審査2件、意見書の提出3件、その他5件です。
 一般通告質問については、10人の議員が登壇し、執行部の所信を伺いました。

人事

公文書開示

審査会委員の任命

潮来市公文書開示審査会委員に、次の方が任命されました。

石橋 仁一さん

あやめ 一十一十六
 昭和十年九月二〇日生

後藤 博子さん

日の出 五十六二〇
 昭和三十六年九月六日生

廣引 芳夫さん

大賀 八四
 昭和八年七月二日生

萩原 正吉さん

島須 一九九二
 昭和十八年一月十八日生

植崎 明夫さん

水戸市南町 一三二二三
 昭和二八年七月二日生

指定管理者の指定

指定管理者の指定	施設の名 称	指定する団体の名称
老人ディサービスセンター	社会福祉法人 一會会 水原1549-1	平成18年4月1日 ～平成21年3月31日
心身障害者福祉センター	社会福祉法人 潮来市社会福祉協議会 辻765	平成18年4月1日 ～平成21年3月31日
道の駅いたこ	株式会社いたこ 前川1326-1	平成18年4月1日 ～平成23年3月31日
ヘルスランドさくら	株式会社 全日 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-333-13	平成18年4月1日 ～平成21年3月31日
水郷潮来バスターミナル駐車場	株式会社 いたこ 前川1326-1	平成18年4月1日 ～平成21年3月31日
市民プール	株式会社 サンアメニティ 東京都北区王子3-19-7	平成18年4月1日 ～平成21年3月31日

請願の審査結果

種 類	件 名	提 出 者	結 果
請 願 第2号	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願 (17・9・7 教育福祉委員会付託)	茨城県教職員組合 潮来小分会 関口 洋治 (他165名)	採 択
請 願 第3号	建設残土搬入に関する請願書 (17・12・6 環境経済委員会付託)	新宮区長 根本 一男 古高区長 今泉 榮一 洲崎区長 尾崎 忠義 小泉区長 宮岡 市栄 大山区長 荒金 秀範 下田区長 笹本 孝之 東 区 長 小谷野保明 西 区 長 関澤 孝二 (他1542名)	採 択

会議経過

十二月六日(火) 本会議

市長あいさつ

議案審議

請願・陳情審査

出席議員 二四人

傍聴者 一人

十二月七日(水) 委員会

環境経済委員会

十二月八日(木) 委員会

教育福祉委員会

十二月九日(金) 休会

十二月十日(土) 休会

十二月十一日(日) 休会

十二月十二日(月) 本会議

一般通告質問

出席議員 二四人

傍聴者 十五人

十二月十三日(火) 本会議

一般通告質問

出席議員 二四人

傍聴者 十一人

十二月十四日(水) 休会

十二月十五日(木) 本会議

追加議案審議

委員会付託案件審査

出席議員 二四人

傍聴者 〇人

第四回定例会の傍聴者は、二七人でした。

委員会活動

環境経済委員会は、十二月七日、請願審査のため申請場所の新宮地区三堂谷の現地調査を行いました。

また、教育福祉委員会は、十二月八日、市立図書館建設の進捗状況確認のため現地調査を実施いたしました。



環境経済委員会



教育福祉委員会

関係機関に意見書を提出しております

建設残土搬入に関する意見書

今般、茨城県に対し竹内建設株式会社から潮来市新宮字三堂谷地内に、建設残土搬入の事前協議書が提出されました。

この地域は、緑に恵まれ、小鳥など小動物等が多く生息する自然環境の豊かな地域であります。樹種も豊富で土質も良く、地下水の涵養機能も優れているため、地区住民は古くからこれを飲料水として利用してきました。

今回の他地域（県外）からの建設残土搬入は、この涵養部分である水源を汚染することは明らかなです。また、事前に許可を受けた土砂とはいえ、神栖市のヒ素問題の事例もあり仮に産業廃棄物等が混入していた場合、土壌が汚染され、水源に多大なる影響を及ぼし、この地区の生活環境が破壊されることに間違いありません。近くには民家もあり、粉塵等による日常生活への支障なども考えられ、また、搬入路は通学路と重複しており、搬入車両と児童・生徒との接触事故等も懸念され、不安はつるばかりです。

以上の理由から当市議会は、他の地域からの建設残土を搬入することに対して、断固反対いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出いたします。

平成17年12月15日

茨城県潮来市議会

予算要望書の提出

力ある地域社会に積極的に事業を展開していくことから、シルバー人材センターや高齢者クラブの補助金の確保に努められたい。

5. 障害者支援自立法に基づき、市町村障害福祉計画を策定されたい。
6. 母子保健法の推進を図られたい。
7. 健康増進法に基づいた生活習慣病予防対策の推進と充実を図られたい。
 - ①基本健診の充実
 - ②健診結果に基づいた健康学習・健康相談・家庭訪問等の充実
8. ヘルスウォーキング事業推進の支援に努められたい。
9. 予防接種の充実を図られたい。

教育委員会

1. 継続事業の実施を図られたい。
 - ①中学生海外派遣研修事業の実施
 - ②社会人T T非常勤講師配置事業の実施
 - ③複式学級（徳島小）の市単独T T講師の配置

- ④外国人英語指導助手配置事業の実施
2. 中学校学習指導員配置事業の実施
3. 適応指導教室の設置予算措置を講じられたい。
4. 第3次コンピューター新整備計画に基づき、教育用コンピューター及び校務処理用コンピューター（教員用）の整備について推進を図られたい。
5. 日の出中学校体育館建設を推進されたい。
6. 延方小学校・老朽校舎（B棟）の解体を早急に実施されたい。
7. 小・中学校校舎及び公民館施設の施設補修費の確保を図られたい。
8. 潮来市立図書館のサービス提供の充実のため、予算措置を講じられたい。
9. 第18回全国生涯学習フェスティバルの予算措置を講じられたい。
10. 総合型地域スポーツクラブ設立の推進を図られたい。
11. 前川運動公園の整備の充実を図られたい。また、市内公園管理の一元化の中で維持管理に努められたい。
12. 水郷潮来クロスカントリーの充実を図られたい。

建設委員会

都市建設課

1. 市道等、道路整備については、市の整備計画並びに地元要望を含め推進されたい。
2. (牛)1-3号線環状線、及び主要地方道路水戸・神栖線と直結する都市計画道路3・4・4潮来駅江寺線の整備に向けて積極的に取り組みを図られたい。
3. 須賀・曲松下開発事業については、盛土計画に従って地域住民と連携を図りながら完成に向けて積極的に推進されたい。
4. 道路の路面について、下水道、水道、その他による影響で修繕しなければならない所を積極的に対応されたい。
5. 各地区の雨水排水路、草刈り、公園等の維持修繕を地元の皆さんに対応してくれるよう推進されたい。
6. 常任委員会で審査した案件を重視されたい。
7. 国道355号バイパスの整備、県道潮来佐原線から県道大賀延方線の新51号バイパスの路線決定について、関係機関へ積極的に要請されたい。
8. 潮来第二中学校前の県道大賀延方線の拡幅整備を県当局へ積極的に働きかけをされたい。
9. 急傾斜事業が早期に進められるよう、危険箇所の指定と採択を図られたい。

下水道課

1. 地域の生活環境改善を図るため、面整備について事業の促進を図られたい。
2. 公共下水道及び農業集落排水施設への未加入者の水洗化促進を強化されたい。

3. 不明水の解消に努め更に引き続き経費削減に努められたい。
4. 調整区域については、農業集落排水事業及び合併処理浄化槽設置事業の整備促進を図られたい。
5. 財政負担の軽減を図るため、公庫資金の借り換えを引き続き促進するとともに政府資金においても借り換えができるよう要望されたい。
6. 日の出の雨水排水については、基本的な調査を行いながら緊急時に於いて対処できる方策を検討されたい。

水道課

1. 水道水源の水質検査の強化を図り、安全で信頼できる水の供給に努めるため高度浄化処理（オゾン処理）の施設を取り入れるよう検討されたい。
2. 水道事業会計に対し、より積極的な財政援助を図られたい。同時に受益者負担の軽減を図られたい。
3. 石綿管更新並びに新設管布設については、整備計画を樹立し計画的に進められたい。
4. 財政負担の軽減を図る為、公庫資金及び政府資金の借り換えが出来るよう要望されたい。
5. 漏水等の調査を行い、有収率の向上を図られたい。

議会運営委員会

1. 電子自治体の促進と将来的な経費削減の面から、各議員へパソコンの配布を願いたい。
2. 議員活動の充実を図るため、政務調査費の支給を願いたい。



平成18年度 委員会

総務委員会

行財政改革推進室

1. 潮来市行財政改革大綱を見直ししながら、強力に行財政改革を推進すること。
2. 各種団体等の補助金を精査し、活動の実態に合うよう見直しを図ること。

企画財政課

1. 合併まちづくり建設計画の後期計画（18～22年）を策定するにあたり、健全財政維持と自主財源確保に最善を尽くすこと。
2. 引き続き鹿行広域負担金の見直しを図ること。
3. 企業誘致を積極的に図られたい。

総務課

1. 潮来市総合防災訓練を実施されたい。

2. 公務能率の向上のため、人材育成基本方針に基づいた計画的な職員研修等を積極的に実施し、更に職員の意識改革に努めること。
3. 組織・機構の見直しを図られたい。

税務課

1. 依然として景気の低迷が続いており、市税の減収は避けられない状況なので収納率向上のため、収納体制の強化及び債権管理機構等の利活用により税の公平確保に努力されたい。
2. 口座振替の推進を図られたい。

牛堀出張所

1. 地籍調査事業の拡大推進を図られたい。

環境経済委員会

農政課

1. 本市の農業の在り方や農業育成のための計画を作成し、広く農業従事者に対して啓蒙し農業振興を図られたい。
2. 道の駅の特産品販売に向け、農産物並びに特産物の安定供給を図ると共に、新たな農産物の特産品を開発し、農業振興につながるよう図られたい。
3. 生産調整100%を推進するために麦、大豆、景観作物を奨励されたい。
4. 米の自由化に向けた販売活動の強化を図られたい。
5. 異業種間の交流を促進させ地域振興発展のために、水郷県民の森（ビジターセンター）の有効利用を図られたい。

観光商工課

1. 経済不況や雇用対策など商工業を取り巻く状況は依然と厳しい状況であることからなお一層の商工業者への支援対策を図られたい。
2. 観光産業及び商店街活性化のための、諸施策への積極的な対応を図られたい。
3. 潮来商工会、牛堀商工会の商業振興推進及び合併に向け支援を図られたい。
4. 行政・観光産業関連団体（観光協会・旅館組合・商工会等）・観光ボランティア団体が観光事業に対しなお一層の連携を図られたい。
5. 各種イベント事業の運営方針等を見直しを検討し、自立を図られたい。
6. 牛堀商工業者の活性化のために、牛堀支所と小学校跡地利用について、商工業者との対話を図られたい。

環境課

1. 環境行政の基本理念を明らかにし、環境保全と創造のための施策を総合的かつ計画的に推進していく、環境基本条例の制定及び環境基本計画の策定を早期に図られたい。
2. 長期的・総合的・広域的な視点にたって、計画的なごみ処理の推進を図る
一般廃棄物処理計画の見直しに取り組まれたい。
3. 生ごみの減量化に役立つ、家庭用生ごみ処理機の補助金限度額の引き上げを図られたい。
4. 水質浄化対策の一層の推進を図られたい。
5. 不法投棄防止の対策に努められたい。
6. 土採取事業の適正な指導を図られたい。
7. 環境学習・環境教育の推進に努められたい。
8. ヘルスランドさくら施設利用者の促進を図られたい。

農業委員会

1. 優良農地確保対策のため、認定農業者の経営改善計画の達成に向けた支援措置を図られたい。
2. 担い手を育成するため、後継者・認定農業者育成に向けた支援策、及び助成措置の拡大を図られたい。
3. 競争力のある強い産地づくりのため、営農意欲を高め、収益性の高い作物栽培へ向けた支援措置を図られたい。
4. 農業委員会の運営については、平成16年度に「農業委員会等に関する法律」の改正が行われ、農業委員会の役割と活動業務が重点化・明確化したことを受け、委員会が今後様々な課題に対応し運営していくため、更なる一般財源の充当化を図られたい。

教育福祉委員会

市民福祉部

1. 子育て支援事業の充実を図られたい。
 - ①学童保育の充実
 - ②子育て広場の充実
 - ③要保護児童対策地域協議会の設置
 - ④私立幼稚園助成
 - ⑤子育て相談窓口の充実

2. 高齢者福祉を充実させ、介護サービスの質的向上、介護予防及び地域ケアの推進を図られたい。
3. 介護保険制度改正に伴い地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的に、地域包括支援センターを平成18年4月1日より設置されたい。
4. 高齢者のための就職の場、生きがいと社会参加、活

一 般 通 告 質 問



大平 幸一 議員

前川排水機場国の動きは

排水ポンプはこの一年で場所、能力を等も決まり、あとは国の予算がつきスタートするのが最重要課題であります。

平成十七年七月十一日、国交省関連二〇ヶ所、そして地元選出国會議員に要望活動をしておりませんが、その後の動向をうかがいます。

十月より比較設計発注

今泉市長

平成十七年度の予算で、霞ヶ浦河川事務所全体の調査費の中から、比較設計を十月に発注したと報告を受けておりまして、十八年一月中旬頃、潮来市と県の河川課、地元の河川事務所まで組織されている前川連絡会に比

較設計を提示していただく話を聞いております。

十八年度の前川に対する予算要求であります。十七年度で全体の中で調整をつけると話しを受けており、市としては次の段階の予算は、国交省が要望の中に組み入れると判断しております。

そして、二月に国交省と財務省で調整がありますが決定すれば、政府原案というような形の中で、前川の調査費が項目として入るだろうと思います。三月の国会が通りますと公表は出来ないと聞いております。三月の国会が成立すれば、四月早々にも、市議會議員を初め住民の皆さん方に国交省の案を提示し、住民に対する説明会を行いたいと希望を持っています。十八年度後半には、形のある、目に見えた動きを地元河川事務所と調整しています。

再質問

今、国の予算編成の時期であり、ここで再度、潮来市より地元選出国會議員に要望をしていただきたいと考えますが、いかにか伺います。

今泉市長

再度の要望を実施したいと考えております。

なぜ返却か？ 要望書。

市道について、今まで対応できなかった要望書を区長さんに返却したということですが、その理由を伺います。

財政的理由

吉川都市建設課長

平成十六年度からお返しをしているところですが、その時点で二五〇余件の要望書があり、内部協議の結果、潮来市の道路整備事業が、整備計画や各地区からの要望箇所を踏まえ、緊急性、必要性を考慮して年次計画を立て整備しているところであります。

しかしながら、ここ数年、財政的な理由により、地区の要望に対応が出来ていないのが現状であります。要望書が古いものや地権者の同意等が得られない状況のものもありまして、要望の内容を再検討していただく意味もありまして、五年経過した要望書については返還する旨を十五年区長会に説明をしたところであります。

再質問

三年前に説明したと言いますが、区長さんが変り理解されて

いない部分がありますが、どの様に今後対応するのか伺います。

吉川都市建設課長

今月十八日に区長会がありましてので、ご説明したいと思っております。

捻出金額は

溶融炉は本年度四月より停止しておりますが、実施後の経過を伺います。

約一億二千万円

鈴木環境経済部長

止めたことによつて減額になった部分については、点検、整備、施設の管理委託、配置替えも含めて大体一億二千万円位であり、これはあくまで見込みで、二〇%前後は変動があると思いますのでご了解いただきたいと思います。



灰溶融施設

補助率三万円に

(ごみ処理機)

家庭用生ごみ処理機は、ごみの減量化に有効な手段であり一年前に提案し上限三万円で努力すると答弁されたが、十七年度より実施できなかったが、理由を伺います。

実現に向けて

鈴木環境経済部長

十七年度に何とか実施出来るために、鋭意努力して参りましたが、現在に至っております。十八年度につきましては、実施できるように、補助金審議会へ申請の手続きを進めているところであります。



家庭用生ごみ処理機

(その他の質問)

◎前川について(現場研修、ポンプの暫定対策、水門の管理)
◎リサイクルについて(二〇〇%ペットボトルでエコバックの作成の提案)

一 般 通 告 質 問



須田 富次 議員

バスターミナルの 拡張の進捗状況は

この件につきましては、第三
回定例会で質問をし、お願いを
いたしました。その後の進捗
状況はいかがなものか。

環境が少し変わってきた

箕輪総務部長

前回の議会のときには、民間
企業の方を期待しつつ、内部で
十分協議をしていきますという
ような答えをしておるところで
ございます。

その後の協議でございますが、
試算はしてみました。また、今
後の状況というようなことでは
環境が少し変わってきていると
いうようなこともございます。
高速バスの運行会社の方で、鹿

嶋を中心にした動きをしていき
たいというようなことも情報に
入ってきております。こういう
ことをよく見きわめながら、拡
張するなり何なりしていきたい
というふうにも思っているところ
でございます。

子供誘拐 振り込め詐欺の対策は

電話で子供を誘拐したと脅し
現金を要求する。その振り込め
詐欺の未遂事件が十一月、県内
で続発をしている。

県警捜査二課によると、十一
月一日から七日までに、県内十
一署管内で計二二件を認知、七
日間だけで十二件に上った。同
様の手口は、以前から散発的に
あったが、この一週間はほぼ全
県で発生しており、警戒を強め
ているのが現状だそうでありま
す。この件で、本市の教育委員
会では万一に備えて、どのよう
な処置・対策をお考えか。

事件の未然防止に 努めている

内田教育長

子供の誘拐を装った振り込め
詐欺事件が発生した場合には、
県教育委員会、鹿行教育事務所、
行方警察署などから連絡が入

り、これを受けて、教育委員会
では各学校にフアックスで緊急に
伝達し、改めて教育委員会とし
て各小学校長あてに文書通知を
行っております。

学校からは、保護者あて通知
により事件の内容等を知らせ、
注意を促し、このような事案が
発生した場合、各学校間でも連
絡し合い、事件に巻き込まれな
いようにしています。

対策としては、各学校から学
校だよりなどを通して、各家庭
に、電話があった場合には冷静
に対応し、安易に振り込まず、
児童・生徒が学校にいないな
いかの確認をするように注意喚
起し、事件の未然防止に努めて
いるところです。

再質問

これらの対策については、学
校の力だけでは限界がありま
す。地域の者も巻き込んでやれ
る対策をお願いしたいと思うが
どうお考えか。

根本教育長

やはり学校の力だけでは、限
界があると考えております。そ
こで、既にもう各学校ではボラ
ンティア募集等をして、あるい
はボランティアへ協力するとい

うようなことで、既に動いてい
る学校がございます。そういう
ことで、地域の力をかりながら
未然防止に努めたいと考えてお
ります。

さらに、学校長を集めまして、
それぞれの学校の取り組み、情
報交換をして、それぞれの学校
で取り組みよい方法を考えてい
ただいて、より充実した指導体
制を整えていきたいと考えてい
るところです。

商工会の統合は

潮来、牛堀商工会の統合が決
まったと聞いております。統合
の年月日はいつか。また、進捗
状況を具体的にお聞かせ願いた
い。

合併の意思確認がなされた

根本企画財政課長

十二月六日に開催されました
推進協議会により、合併の意思
確認がなされ、今後は、合併の
時期などについて早急に決定す
べく、協議を進めていく予定と
いうことであるようです。

商工会の合併は、国及び県の
商工会連合会としても合併促進
の方針が出されており、そして、

各商工会への合併指導も進めら
れております。市としても、地
域経済振興の中枢を担う重要な
経済団体であります。育成支援
を行う側面的なところから、両
商工会への働きかけを行ってい
るところです。引き続き、関係
者のご意見等を伺いながら対応
をしてまいりたいと思います。

(その他の質問)

◎住民基本台帳ネットワークシ
ステムについて

◎情報漏洩時の危機管理につい
て

◎公民館の使用について



市職員による青色防犯パトロール

一 般 通 告 質 問



笠間 丈夫 議員

図書館建設の進捗について

平成十八年春開館予定で建設が進められているが、入札のやり直しがあり、設計変更や工事の遅れが懸念される。

①購入図書は整備また市民からのリクエストの状況は。

②既存公民館の図書室及び近隣市町村の図書館とのネットワーク化は。

③職員の体制、事前研修、図書館長の人は。

十分な準備としっかりした体制が必要と思う。現在の進捗状況と開館時期の予定について伺う。

進捗は概ね予定通り、開館は五月を目標にしている

内田教育次長

図書の購入は、九万六千冊を

を目標に順調に準備が進んでいる。リクエストは現在まで一〇六名から頂いているが、開館後もリクエストを実施していきたい。

当図書館は、児童・青少年向けを重点に置いている点が特徴で、蔵書の約二五％を占める。

ネットワーキ化について、県立図書館、近隣図書館とは開館当初から協働体制を整え、地区公民館の図書室は段階的に分館的機能を整えていく。

運営体制については、一部業務委託を考えており、経験のある方を派遣するよう要請している。

研修は順次進めており、全体の準備面では、担当の課長補佐を配属し万全を期している。

潮来二中の安全対策について

二中学校舎改築が進められ、二期工事が無事完了し十一月二二日竣工式が執り行われた。残り体育館と特殊教室の工事を進め、平成十九年にすべて完成の計画となっているが、安全対策について伺う。

①平成十九年までの工事期間中及び完了時点の歩道、街灯は。

②県道狭小部の早期解決は。

歩道、街灯を設置し生徒の安全確保を図る

内田教育次長

工事期間中は出入口を分離し、工事の状況により打ち合わせに学校側も出席している。また、新正門側市道が狭いため敷地内に歩道を整備する。街灯についても設置を図っていく。県道狭小部解消の件は、引き続き要望していく。

敬老会について

関係者が一生懸命敬老会の運営に取り組んでいるが、市民の意見や疑問は否定的な内容が多い。いろいろテスト的に実施してみても、よりよい敬老会のあり方を探ってはどうか。

①古希、喜寿、傘寿等人生の節目の方を対象に潮来公民館で実施してはどうか。

②各地区に一律補助金を出し、独自に敬老会を開催してもらうのはどうか。市の考えを伺う。

実行委員会に提案して行く

佐野市民福祉部長

敬老会は、実行委員会に執行部の意見や皆さんからの意見を

提案して実行している。その中でより多くの方の参加を呼びかけ招待したいというのが、基本的な考え方であった。各地区独自開催については、平成十八年度の実行委員会に提案していきたい。

北浦湖岸道路について

平成十六年に国交省の管理道路を舗装の上、譲渡され市道となったが、交通規制が無く事故が懸念される。

①交通規制、表示標識類等の設置は。

②常陸利根川堤防のように、市指定のウォーキングロードは設置できないのか。

交通規制は考えていないが、何らかの安全対策は検討したい。

久保本総務課長

現状の交通量等を調査した。朝の出勤時間帯神宮橋方向へ六〇台、水原方向へ十台、ウォーキング約十人で、車のスピードも出ており危険性を感じた。警察に伺ったが、現状では交通規制は考えていないとのこと。道路の幅員を一部狭くするなど安全対策を検討していきたい。

白鳥のいる周辺に二コース設置している

佐野市民福祉部長

市では、体力維持のためウォーキングコースを十八コース設定している。北浦湖岸周辺には、白鳥の里散策コースと北浦の四季を楽しむコースを設定している。ヘルスウォーキング連合会と連携し、これらの運動を続けていきたい。

火災報知器設置義務について

平成十八年六月より新築の個人住宅に、平成二〇年からは既存の個人住宅に、火災報知器の設置が義務づけられる。

①周知徹底のPRと幹旋または補助制度の考えはないか。

②悪徳商法による詐欺が懸念される。事前の対応は。

悪徳商法に遭わないように広報PRに努める

久保本総務課長

広報PRの際は、十分に注意喚起を図りたい。幹旋及び補助制度については、高額でなく、また、二年間の周知期間もあるため現在は考えていない。

一 般 通 告 質 問



橋本 きくい 議員

北浦の水に対する 報告及び対策について

十月三日、知事との対話集会をかけたの陳情も無事に進み、そして高度処理型浄化槽についても、二〇戸まとまれば個人負担が一割でよいと言ふことを知事の口からはっきり申されました。結局は、公共下水道も農業集落排水事業も県はあまり望めないと云ふことの様に受けとめたようだ。だから高度処理型に切り替え、積極的に進めてもらいたいと言ふ事の様である。水原地区についても、申し訳ありませんが、県の進める浄化槽に切り替えていただき、北浦の水の浄化にお力を貸していただけますよう心からお願ひ申し上げます次第です。また、十一月九日には、鹿島郡の方々八二三名

の方々と国交省、環境省、農林水産省に二回目の陳情に行つて参りました。各省とも大変気持ちよく受けとめて下さり、特に環境大臣政務官である竹下登さんの弟さんである竹下亘さんは、熱心に対応して下さいました。また、地元の代議士先生のお力添えもあり、落ち着いて目的達成のために真剣にお願いして参りました。一日おいて次の日、地元の国交省事務所にもお願いに上がりましたら、本省からの連絡がありました。自分達も時間はかかると思いますが、皆さんの要望答えられるよう努力しますと真剣に受け止めていただきました。十二月五日には、鹿行の市長さんにも陳情書を提出して参りました。なお、新年に入りましたら、鹿行の議会に請願書を提出します。鹿行が一つになって、北浦の水を守ることが大切だからです。当局の考えをお伺ひ致します。

十分検討し 方向性を示したい

本宮建設部長

北浦の水質浄化につきまして、御協力いただきまして誠にありがとうございます。潮来地区すなわち水原地区に高度処理型浄化槽の事業を取り入れてはどうかというご質問でございま

すが、個人で設置するのではなく、市町村が設置主体となり、年間で二〇戸以上の住宅について、個別の浄化槽を整備する事業でございします。費用につきましては、個人の負担金が設置費の十分の一と言ふことでございします。市で行う場合であります。住民の意識調査、市の財政状況、市の組織体制さらに今後の農業集落排水事業の方向性を十分検討して、議会等では、農業集落排水事業での要望を採択しているということから、それらを十分検討して今後の方向性を示していきたいと存じます。

福祉対策について

実は、今日まで自分が健康であつたため、福祉についてあまり考えなかつた。気がつくのが遅かつたのです。最近国会において、福祉についての法律が変わつて、新聞テレビ等で国会周辺で座り込みをしている障害者の方々の切ない叫びが聞こえてきました。また、身内等にも何人かの障害者のいることを知り、他人事ではない言ふことに気がつきました。潮来市においては、平成十五年度に、社会福祉協議会において、策定委員会により、立派な潮来市の福祉の基本構想を立ち上げました。私

も拝読いたしました。この間の女性議会の福祉に対する質問がありました。現在何も考えていないという答弁がありました。私も傍聴をしておりましたので驚きました。私は、最近潮来の福祉について多くの方々の話を聞く機会をいただき、県の方にも二度程勉強にまいりました。法律の内容も変わつて、今日まで殆んど行政型指導ですべて福祉は行政がやるものと思われてきたが、これからは市民一人一人が地域に根差した福祉のあり方を考え、地域ぐるみで行動を興す地域型福祉に変えるのです。私はこの度福祉ゾーンと位置づけされている八代小学校跡地について、関心を持つようになつた。そして、多くの市民とともに、かすみ保健センターの近くの八代小学校跡地を全部借りて、市が平成十五年に基本構想を立ち上げたその構想の中身の通りのゾーンを皆さんの知恵を借りて、立ち上げたいと思うのです。現在、健康者の団体が当分の間使用されいられることを伺ひましたが、御理解をいただいて、牛堀第二小学校跡地と入れ替えていただくことを切にお願いする次第です。はつきり貸していただくことを求めます。

調査費の計上を検討中 根本企画財政課長

この八代小学校跡地については、福祉ゾーンと位置づけて、平成十八年度予算編成を行つております。この過程の中で、調査費等の計上を考えております。この段階では状況に応じて関係する方々と協議を行い、調査結果をまとめることになると思います。

要望

実は三〇年前、中央公民館建設時代、島倉千代子ショーやバザー等をして、現在一億三千万円程の積立資金があります。これは、福祉会館を建てるための資金として積みたてたものです。が、時代が変り、現在八代小学校跡地を利用して、福祉ゾーンと位置づけ、中身の濃い地域福祉に変わることをお願いいたします。当分の間市の経済的理由で、福祉会館なるものは望めない。ましてや、地域ケアとして、地域の中でのグループホーム、作業所等の動きが始まっているので、市の行政の速やかな受け入れ体制が必要だし、現在義務教育の終わった子供たちの受け入れのためにも、早急な組織化、または話し合いが望まれることを期待いたします。

一 般 通 告 質 問



篠塚 貴美子 議員

スポーツウエアの リサイクル

古いトレーニングウエアが、新品のウエアになる。

ポリエステル六五%以上のウエアならそのまま回収して、さまざまな化学反応を利用し、原料に再生、新製品に生れ変わる「エターナルリサイクルシステム」がある。

各小中学校で着古したウエアを集める。環境にやさしい教育の実践に向けて大きな効果がある。何度でも繊維素材へと生れ変わる完全循環型です。

このリサイクルシステムを取り入れてはいかがですか。

かぎられた製品のみ対象

内田教育次長

一部のジャージメーカーが繊維メーカーと協力して行っているシステム。学校のスポーツウエアは、学校によりメーカーが違い、取り入れるには課題があります。

国内外市場に

窪谷環境課長

衣類、布類は年間一〇〇トン回収業者により無償で分別されてウエス類古着類として国内外市場に出荷されている。

エターナルシステムについては、分別の複雑化、収集法などの問題がある。ごみ減量化、資源化は重要な事項であり、この新しいシステムについてはこれからの動向に注視していく。

少子化対策について

子供が少ないと言いはじめて十数年来経過している。潮来地区運動会で一番盛り上がる町内対抗レースが来年はできないことで、会議をすることになっていきます。

市の少子化対策についての取り組みと出生率の現状について伺います。

次世代育成支援地域 行動計画策定

前島社会福祉課長

地方公共団体、企業等、社会が一体となって子育て環境を整える次世代育成支援に取り組み行動計画を策定しました。児童問題に幅広く取り組むための児童虐待防止ネットワークを含めた要保護児童対策地域協議会を発足します。

潮来市の合計特殊出生率は、二〇〇二年、一・四五人。少子化が進んでいます。

再質問

育児については母親に大変な負担がかかっている。子供を産まない理由は子育て費用の負担増である。小児科の病院が少ない。子供が安心して遊べる場所として、児童館、公民館が欲しい。

地域との付き合いが薄くなつて、子供を犯罪、危険から守る取り組みが必要等が問題としてある。平成七年から取り組まれている結婚対策イベント、少子

化対策として続けてください。

前島社会福祉課長

これまでに四組まとまったケースがあり、結婚対策イベントに力を入れているところですよ。

火災警報器設置の義務

一般住宅にはほとんど付いていない火災警報器、これまで大規模共同住宅にだけ火災警報器の設置が義務づけられていました。火災警報器の設置義務の取り組みについて伺います。

火災警報器は煙式と熱式の二種類があり、実行させるにもPRが必要と考えます。何年の猶予を得て義務化されるのか伺います。

二年間の猶予

久保木総務課長

新築の住宅については、十八年六月一日施行、既存住宅は鹿行広域事務組合（消防本部）の議会で二〇年六月一日とされ、潮来市でも二〇年六月一日施行になり、二年間の猶予になる。PRに努めて普及して参ります。

特急あやめ引退

クリーム色に赤のラインが入った特急「あやめ」引退。時代は高速バスが東京へ一日六〇便運行するようになり立場が逆転、十二月十日から特急「あやめ号」「しおさい号」になる。鹿島神宮駅まで乗り入れは一往復だけ、パンフレットの写真は千葉県の名所旧跡だけです。

高速バスが大勢の利用客があるのであれば、乗り場の施設をてこ入れする必要があるのではないかと伺います。

東京までの移動、 高速バスへ

根本企画財政課長

今度のダイヤ改正で成田線が中心のダイヤになり、特急「あやめ」の下り線が成田までということになる。東京までの移動が高速バスへ振り変ったことが考えられる。施設整備については、検討します。

一 般 通 告 質 問



柚 木 巖 議員

土採取場復元の実態は

水と緑の豊かな水郷潮来が近年、その緑がどんどん失われつつある。県民の森にて全国植樹祭が開催され、緑化活動を推進する機運が高まる中で、一方で山を崩しての土砂採取がいたるところで行われている。

①土砂採取跡地の緑地や土砂崩れ防止等の復元処置の実態は？
②市条例の罰金三〇万円以下は廃棄物処理法の罰金に比べて低いのでは？
③土砂採取稼働中の現場チェックは誰がどのように行っているか伺う。

十年間で復元が三割

窪谷環境課長

①ここ十年間の届け出受理件数は二九件で、完了届けは九

件。そして稼働中のものが十六件、終了したが完了届の未提出が四件ある。なお、完了届を出さなければ、新たな事業採取は認めない。

②廃棄物処理法の罰則金も年々上がってきているため、格差ができたように思う。

③現場パトロールは不定期に行っており、周辺住民から苦情等の連絡があった場合、その都度環境課の職員が立ち入りチェックを行い指導している。

再質問

事前に供託金を市が受け取り、違反者には返還しない制度や環境税を検討しては？

窪谷環境課長

供託金制度及び環境税の提案を前向きに考えたい。

産廃不法投棄の防止策は

悪質な業者による巧妙な不法投棄は後を絶たない状況であるが、その根絶に向け本市の取り組みを伺う。

監視員による監視と監視カメラで対応

窪谷環境課長

台地部は不法投棄監視員の十

九名で、底地部を水質監視員の十九名で監視いただいている。また、区長六六名の方々にも美化推進員として協力をいただいている。

パトロールの頻度は指定せず、日常生活の中で不法投棄を発見した場合には市の方へ連絡いただき対処している。

要望

市の職員と監視員がペアを組み、定期的にパトロールを行い、他の地域からの残土持ち込みなどのチェック体制強化を強く望む。

廃棄物焼却の取り締り強化を

近隣の廃棄物焼却などで悪臭と火災の心配に悩んでいても、近所付き合いを考えるとなかなか言い出せない人もいます。このような苦情に対して行政の対処方法を伺う。

改善されない場合は警察に

窪谷環境課長

市民から連絡があった場合、できるだけ早く現場に行き確認する。野焼き中の行為者に法律により禁止されている旨を説明し、以後野焼きを行わないよう

指導している。再三繰り返し返される場合には警察にて対応をお願いし、始末書を提出した事例もある。

苦情件数は本年十一月末で十三件あり、他に軽微な注意が十件ぐらいあった。その内容は家庭ごみの焼却が大部分で、その他に梱包資材、ゴム・ビニール類の焼却、家屋解体物の焼却である。夜間に警察への通報があり、警察から逆に市の立ち会いを要請されたケースもあった。

環境教育の取り組みは

本年二月に環境保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律の通達が出されたが、本市における学習状況と今後の方針を伺う。

学校と行政が協力し推進

根本教育長

小中学校では四季対応の潮来自然環境マップを活用、動植物の観察や栽培あるいは飼育などの体験的な学習を行っている。また、理科や生活科あるいは総合的な学習などを通じて環境の問題を考えたり、自然を大切に

しようとする心を養うように努めている。学校ビオトープもその一つである。

窪谷環境課長

環境課としては、市内小学校四年生のクリーンセンターの見学やグループ学習の受け入れ。延方小学校四年生に、ごみの分別を中心とした出前学習会を実施した。

さらに平成十八年度からは、市内小学生を対象に、ごみ・水環境をテーマにした学習を計画している。

（その他の質問）
◎環境サポーター制度の導入について



ビオトープでの環境教育

一 般 通 告 質 問



吉 川 俊 議員

敬老会参加者数は？

参加者が少ないと指摘されている。平成十七年度の対象者総数と参加者数、今年度初めての招待は何人か。

参加率は約十三％

佐野市民福祉部長
対象者総数は、三九三〇名。そのうち参加者は五〇六名。初めて招待の人数は確認してない。

参加者が少ない理由は？

長寿が讃えられ、だれもが笑顔で老いを迎えられる社会づくりやお年寄りが喜ぶ敬老会が求められている。参加者が少ない理由は。

アトラクション等のマンネリ化

佐野市民福祉部長

嗜好が多様化しているほか、会場の空調施設、アトラクションのマンネリ化等、いろいろなケースが考えられるが、参加者が増えることを願っている。

「あやめ寄席」との合同開催は

「潮来あやめ寄席」は、会場の空席が目立つ。敬老会との合同開催を考えては……。

実行委員会に提案したい

佐野市民福祉部長

あやめ寄席は、公民館の自主活動なので、協議が必要になる。実行委員会に提案していく。

敬老会の考えは？

敬老会の現状認識と来年度以降の考えは。

感謝を込めて開催

佐野市民福祉部長

高齢者に感謝を込めて敬老会を催している。少しでも良いものと努力しているが、結果が得られない。今後も敬老会実行委員会等で協議したい。

災害発生時の高齢者対策は？

地震等自然災害発生時の対応

について、一人暮らしの高齢者は大変な不安を抱いている。情報伝達、避難誘導などの高齢者対策は。

対策本部の指示を受ける

佐野市民福祉部長

災害対策本部等の指示を受け、福祉部が対応する。民生委員にお願いし、かかりつけ医師、血液、緊急時の連絡先等を調査してあり有事にはそれを基に対応をする。

災害時対応自販機の設置は？

公共施設に設置されている飲料水の自販機の設置実態と公民館・学校など避難場所への災害時対応自販機を導入しては。

効果を考え対応したい

久保本総務課長

設置は、市役所、牛堀出張所、各地区公民館、市民プールなど。メリットが考えられるのでメーカーとも協議し対応したい。

余熱の活用実態は？

ヘルスランド「さくら」は、ごみ焼却施設の余熱を利用した地元還元施設。地域の活性化、市民の福祉と健康づくりの中核施設として利用されている。クリーンセンターの余熱の活用実態は。

用実態は。

「さくら」での利用は約二五％

鈴木環境経済部長

ヘルスランド「さくら」では、浴槽内の汚れ落とし、浴槽への給水、打たせ湯として約二五％を利用している。一〇〇％にするにはどうすればいいのか指定管理者と打合せし考えたい。

図書館の図書購入費は？

厳しい財政事情（職員の給料カットなど）が続いている。次年度以降の図書購入費など図書環境整備への考えは。

予算確保に努める

内田教育次長

魅力ある図書館は、新鮮で豊富な図書資料の収集が重要。図書資料の予算確保に努めたい。

職員厚生費の性格は？

全国的に地方公務員への厚遇批判が高まり、職員互助会への公費補助金を見直す動きが広がっている。

「職員厚生費二三四万七千円」の性格と内容は。

厚生制度にもとづく補助

箕輪総務部長

厚生制度は、地方公務員法第

四二条で規定する。職員が研修旅行、日帰り見学等に行った職員に直接補助している。

（その他の質問）

- ◎安心・安全なまちづくりは、福祉の第一歩
- ◎進めよう！もったいない運動
- ◎お年寄りが喜ぶ「敬老会」
- ◎固定資産税の確定に地積調査は必須
- ◎効果が大きい！朝の読書
- ◎市民の批判を招くな！職員互助会への補助



敬 老 会



塚本 誠一 議員

観光農園のその後の事業推進について

市長は平成七年初当選をし、観光農園事業の凍結を決定した。以来十年、投資額約二二億一千万円、借地料年間一〇五〇万円、これは言うならば市民が借金をし、支払っている訳で、この土地の方向性を示さないのは、裏切り行為ではないかと市民の指摘を受けている。今後どのような方針で、この土地の活用を進めて行くのか。

開発許可の手続きが必要

根本企画財政課長

農地からの地目変更を三月に終了した。今後、企業誘致等を図るために、市街化調整区域での開発許可の手続きが必要であり、今後も一定の投資をしてい

かなければならない。早い時期に活用方針を立て、議会にも相談を申し上げたい。

再質問

前任者の残した事業であつて、自分に責任は無いとお考えか。借地料の見直しは考えているのか。今後見直しの中で、売却なのか賃貸でいくのか伺う。

今泉市長

行政の継続性で、すべて私の責任です。原野の状況を十年かけて港湾の土を入れ資産価値を上げた。現在でも水郷楽園構想は生きているので、法律上規制があり、勝手に計画を立てられないので、県と調整を進めているところですよ。

前川整備事業と住民の連携について

前川を日本一の川にするという市長の公約であり、一刻も早く治水対策の排水機場の設置場所を決定し、目標に向って進むべきです。しかし、地域住民との懇談が進んでいない状況と思われまふ。

行政側が示した景観図が主体的で、住民の意見や考え方が全面に出て、住民が自ら奉仕をしてつくるような前川づくりが必要ではないかと考える。

①住民と行政が一体的となった前川づくりを進める組織を作る考えは。②市長自ら前川清掃作戦に参加し、河川整備の必要性と理解を訴える考えは。③前川水質浄化のため、家庭排水等の悪水流入を阻止する、住民との検討会を設け進める考えは。

協議会を設置し進める

今泉市長

今後、前川ふるさとの川づくり協議会というような組織を作り進めて行きたい。私も地元に戻れば一住民であり、大洲から前川周辺の清掃には協力しており、賛同はいただいている。

また、霞ヶ浦問題協議会やあやめ公園清掃作戦等に市民を代表して参加し、自然の尊さ、環境を守ることの大事さを訴えている。

給与カットをやめたことは未だに理解できない

市長は、本年四月から自らの給与五％のカットを元に戻した。潮来町長就任後、財政再建を唱え財政非常事態宣言をし、その取り組みは、多くの皆様から高い評価を得られた。しかし、当時と比較すると、現在の方が遥かに悪い状況にある。

市のトップリーダーとして模

範を示すべきで、それにより市民も納得をし理解をしてくれるのではないかと。政治資金を県内市長の中でも第一位にランクするほど集め、自らの報酬五％カットをやめてしまったことに未だに理解できない。再度説明を求める。

特別職二人になるために

箕輪総務部長

十七年度自治法が改正になり、収入役を置かなくても執行部体制は十分チェックできると協議の中で判断された結果で、元に戻し進めたらということになった。

報酬審議会の答申を受けて

市長は、自らの報酬カットをやめ、報酬審議会に諮問し答申が出されたが、①なぜ諮問したのか。ご自身の判断で出来なかったのか。また、議員報酬も諮問したが、議員報酬は高いと思っているか。②答申を尊重し、引き下げをするのか。③答申では引き下げ時期を平成十八年四月実施が望ましいとあるが、平成十七年四月に遡りカットすべきと思うが、どう考えるか。

市民の考えを聞こうと

今泉市長

報酬は、潮来町長就任以来十一年間増額していない。どの水準が妥当なのか検証しなければと以前から思っており、市民の声を聞こうと諮問をした。議員報酬が高いか低いかは僭越でありますのでお答えはできません。答申を重く受けとめ、平成十八年四月から削減の考えです。

要望

市の財政状況は、悪化している。県内六二団体中で公債費比率五六番目、起債制限比率六〇番目。自主財源確保のための政策を念頭に置き、平成十八年度予算編成をしていただきたい。学校建設と図書館建設等の影響で、商業、環境、道路関連の生活周辺の事業に手が回らない状況下に市民の不平不満を耳にします。住民に身近な政策をする必要がある。どうか夢のある、活力あるまちづくりのために頑張ってください。

(その他の質問)

- ◎合併建設の見直しについて
- ◎行政改革について
- ◎財政再建計画について
- ◎庁舎建設の考え方について
- ◎今後の合併についての考え方について
- ◎自主財源確保、企業誘致について

一 般 通 告 質 問

水の浄化と確保について



長谷川 幸雄 議員

私は十七年度の一年間に、土地改良の関係で、「北浦の水の浄化と確保を考える協議会」の視察に四回参加しました。そして、国交省、水公団の話を聞いたのですが、関係地域住民としては、納得のゆく安心する情報ではありませんでした。

国県の事業なので、市当局に詳細な答弁を求めるものではありませんが、将来の潮来市の水の課題に対しての方向性、方針等の考え方を求めるものです。私達の利用している水道水の悪化は、年々進んでいます。北浦、霞ヶ浦には、湧水や伏流水が無く川辺の形態も自然浄化をする力を無くしています。この

状況の中で、一番効果のある方は、他地域からの導水事業であるとの情報でした。

関東地方で流域が広く、水源、水量とも一番の利根水系と、栃木県的那須地方を水源とする那珂川を、霞ヶ浦、北浦を中間ダムとして利用して、導水事業で連結する訳ですが、千葉県に視察に行きますと、茨城は東京へ水を供給する立場でもありません。利根本流からの霞ヶ浦への導水は、工事は完了していても稼動するのは先のことでとの説明。

また、那珂川導水関係では、北浦上流の巴川への放流では、技術的には可能ですが、那珂川の水量が足りません。基本計画外なので、調整中です。慣行水利権の農業用水、漁業権の問題も見解決とのことでの説明です。

また、具体的な施策としては、下水道を完全に普及させること、北浦の湖底のドロを除去すること、里山の保全等が急務ですとの説明を受けたわけであります。

次に、NPOの団体であるアサザプロジェクトのパンフレットを検討してみますと、逆水門

の弾力的運用により、塩害の発生を抑えた水の浄化が可能であり、工業用水の使用、農業用水の管理は、十分出来ることと発表しています。自治体、国県、民間と、それぞれ大切な水のことですので、計画、方向性は持つている訳ですが、それが一本化されていないようにしか認識できません。

工業用水は通産省、農業用水は漁業権は農林水産省、上下水道は厚生労働省、治水は国土交通省と多岐に関する行政区分だと思っています。この関係機関が、一堂に会し潮来市が中核となり、会議を興す必要性を感じますが、総括的な考え方をお聞きします。

水質浄化の目的で整備される霞ヶ浦導水事業

香取農政課長

まず、霞ヶ浦導水事業であります。水質浄化、既得用水の安定化、河川環境の保全、新規都市用水の確保を事業の目的に、二つ以上の河川を導水路で結び、水を融通させる流況調整河川事業です。平成二二年度完成をめざし進められています。

旧東町に完成した利根導水路

の運用は、霞ヶ浦開発施設に関する管理規定に定められているとのことですが、現在必要が生じていないとのこと。

更に、那珂川導水の遅れは、地下トンネル工事のため地上権設定が難航したこと、漁業者の同意が得られなかったと伺っております。また、北浦巴川への送水の件では、要望は伺っておりますが、現在の事業計画の工事を完成させることが先決と考えているとのこと。北浦の水質改善策については、茨城県をはじめ関係機関と共に水質汚濁メカニズムの解明等の調査検討や水質改善に効果的な対策について総合的に検討して行くことと伺っております。

次に、逆水門の弾力的運用による水質浄化の件ですが、機会ある毎に、公共、民間の意見を広く精査してまいりたいと考えております。



水の浄化が望まれる霞ヶ浦

一 般 通 告 質 問



今泉 利拓 議員

“市長の給料5%カット
中止”について

市長は毎月の給料5%カットを止めた。政治活動資金が不足してきたからか。自分に助役、教育長も歩調を合わせてもらったのか。

報酬は報酬

今泉市長

随分単純な考えだ。報酬は報酬。政治活動費は活動費。

再質問

市長は政治活動費が不足している筈はない。十一月三〇日、県選管が公表した平成十六年度の政治団体収支報告書では、今

泉和市長は自分の政治資金団体“ウエルネス21”を通して、九〇三万円の政治資金を集め、県内三〇市長の中でトップになっている。平成十六年度から、十七年度への繰越金は、一五三万五七〇円もある。

市長は、平成十七年四月にさかのぼって給料カットを止めた分を、市に返すべきではないか。

箕輪総務部長

一度支払った給料を、市に返させることは、法律上出来ない。

今泉市長

報酬審議会の答申を重く受けとめ、平成十八年四月から削減を考える。

潮来ふるさと館の累積赤字
四七五万一千円に

平成十年にオープンした潮来ふるさと館の累積赤字が、四七五万一千円にもなっている。

潮来お荷物館だと言わざるを得ない。

新しい観光の目玉として、潮来ふるさと館をオープンさせたのは、当時の潮来町長、今泉和市長だ。最高責任者として、潮

来ふるさと館の運営をどうしていくつもりか。

潮来お荷物館の
指摘は当たらない

今泉市長

単年度で見ると、赤字は間違いない事実。総合的に見れば、お荷物館という指摘は当たらないと考えている。色々若い人達にふるさと館の利用を考えようと働きかけもしている。

また、ふるさと館運営委員会等でも色々協議している。今後、そのような指摘を受けないよう、スタッフ一同努力して行く。

鹿行広域消防へ、潮来市
四億三三八七万九千円負担

平成十七年度に、潮来市が、四億三千万円もの負担金を納めている。鹿行広域消防で、二人の署員が相次いで自殺した。広域消防で起こっている事については、私共は納税者の一人として知る権利がある。

聞くところによれば、管理者の潮来市長、消防長、鹿島北部消防署長が、減俸処分を受けた

ようだが、年にどれ位の減俸処分をされたのか。

広域事務組合の事は、
潮来市とは別組織の事

今泉市長

鹿行広域事務組合議会に、潮来からも二人の議員が出ています。遂次報告があると思う。

再質問

確かに、鹿行広域事務組合は別組織。市長は管理者として答弁の必要なしとの様だ。

それなら私から申し上げる。減俸処分では甘い。直ちに鹿行広域事務組合の管理者を辞めるべきだ。対内的にも、対外的にも、潮来の市長は立派だと言われる。はじめをつけた責任をとるべきではないか。

そして、後任に、色々問題が指摘されている広域消防内の体制の立て直しをやってもらったかどうか。

今泉市長

鹿行広域事務組合管理者としての答弁なし。

(その他の質問)

◎女性議会について

◎水郷有料道路の無料化。市内幹線道路沿いの土地規制緩和について、県知事へ議会共々陳情することについて

◎県道大賀延方線と県道潮来佐原線の直結について

◎県道大賀延方線と県道潮来佐原線の直結について

議会議員活動日誌（10～12月）

日にち	活 動 内 容	参加議員	日にち	活 動 内 容	参加議員
10月6日	月まつり	全議員	11月18日	市民文化祭開会式	関係議員
7日	議長杯クロッケー大会	議長	20日	デュアスロン大会	全議員
9日	身体障害者福祉協議会運動会	全議員		大生神社例大祭	議長
	福井県敦賀市松原神社例大祭（～10日）	関係議員	21日	潮来二中竣工式	全議員
11日	環境経済委員会協議会	環境経済委員		教育福祉委員会協議会	議長・教育福祉委員
12日	茨城県市議会議長会正副会長会議	議長	22日	建設委員会協議会	議長・建設委員
	建設委員会協議会	建設委員		議会運営委員会	議長・議会運営委員
13日	市民ゴルフ大会	関係議員	24日	総務委員会協議会	総務委員
14日	県内四団体連絡会議	議長		環境経済委員会協議会	環境経済委員
15日	潮来花嫁さん記念碑除幕式	全議員	25日	全員協議会	全議員
	青少年のつどい	全議員		第3回臨時会	全議員
16日	区長会との意見交換会	正副議長・各委員長		大分県東国東郡議長会来庁	議長
17日	総務委員会協議会	総務委員	26日	商工会永年勤続表彰式	議長
18日	中学生海外派遣出発式	議長	29日	鹿行地方広域市町村圏事務組合議会	関係議員
	広報編集委員会	広報委員	30日	県高速道ネットワーク実現大会	議長
19日	茨城県市議会議長会定例会	議長	12月2日	議会運営委員会	議長・議会運営委員
22日	行方地区消防操法大会	議長	4日	赤須神社祭礼	議長
24日	全員協議会	全議員	6日	定例会（～15日）	全議員
25日	県北鹿行市議会議長会定例会	議長	7日	環境経済委員会	議長・環境経済委員
26日	悠々塾移動研修（～27日）	議長	8日	教育福祉委員会	議長・教育福祉委員
28日	北海道美幌町議会来庁	議長	9日	県内四団体と知事懇談会	議長
29日	シルバーふれあい祭	議長	19日	青色灯防犯パトロール出発式	正副議長・総務委員
30日	百里航空観閲式	議長	20日	社会福祉協議会表彰選考委員会	議長
	津知・延方・大生原・日の出・牛堀地区運動会	各地元議員	21日	水田農業推進協議会	議長・環境経済委員長
11月1日	茨城県市議会議長会議員研修会（～2日）	全議員	22日	シルバー人材センター忘年会	議長
3日	潮来地区運動会	地元議員		鹿行地域事務組合議会	関係議員
5日	潮来・鹿嶋・佐原三市議会交流会	関係議員		防犯パトロール	議長
8日	山形県庄内町議会来庁	議長	25日	身体障害者福祉協議会クリスマス会	議長・教育福祉委員
9日	議会運営委員会視察研修（～10日）	議会運営委員	27日	県知事要望	正副議長・関係議員
9日	行方市合併記念式典	副議長			
14日	菊花展示会表彰式	議長			
15日	総務委員会視察研修（～16日）	総務委員			
	会長杯グランドゴルフ大会	副議長			
17日	区長会移動研修（～19日）	議長			

議会運営委員会研修視察報告

期 日：平成17年11月9日～10日

研修地：長野県諏訪市議会

内 容：議会運営について

最初に議会事務局から諏訪市議会の概要について説明を受け、その後意見交換を行いました。

印象に残った主な事項を記してみますと、まず、平成の大合併についての経過説明があり、当初、諏訪市、岡谷市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村の6市町村で協議してきたが、最終的には住民アンケートの結果、合併しないこととなった。

議会の議員は現在22人で、委員会は総務、社会、経済建設の3委員会である。4委員会の潮来は総務、教育福祉、環境経済、建設で、諏訪市は総務委員会に教育委員会が所属しているのが特徴的である。各委員会の議員構成は各7人あるが、議長はどの委員会にも属していない。議長はどの委員会にも出席でき、他の委員と同じように自由に発言できる。議会運営委員会は9人で、各常任委員長及び各会派の代表者で構成されている。

これまでの議員定数の削減経過であるが、昭和61年に30人から28人へ、平成2年に26人へ、平成10年に23人（現在は1人欠員）へ、そして平成19年4月1日以降の選挙から15人にすることが決まっている。

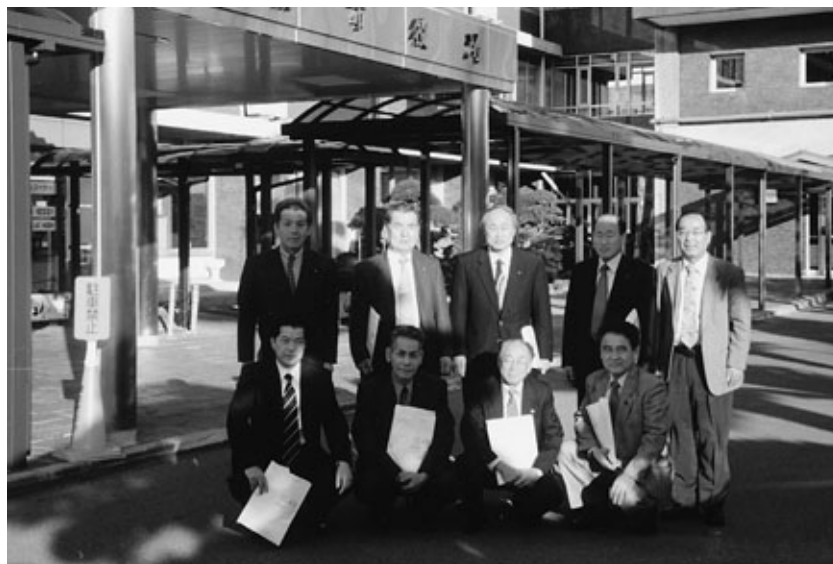
大幅に削減した理由は、これまで合併論議を進めてきた中で、合併したら諏訪市出身の議員枠は15人ぐらいだろうとの合意ができており、結果的に合併はできなかったけれどもその趣旨を生かそうと言うことで条例を改正したということでありました。

議員報酬は34万9千円で潮来市よりも9万円高く、議員活動の経費として支給される政務調査費は、潮来は支給していないが、年額12万円を交付している。

その他の特徴としては、一般質問は、潮来は2時間以内で一括質問、一括答弁で実施しているが、諏訪市は50分以内で一問一答制を採用している。また、当選回数別でみると1期生が11人、2期生9人、3期生2人で4期以上の古参議員が皆無なのには正直驚いた。合併論議の中で議員数の削減が予想されたので、その辺が影響しているかもしれないとのことであった。

事務局職員は局長、次長、係長、庶務係員2、議事係員1の6人で、潮来市では3人である。その他、予定時間をオーバーしての活発な意見交換を行ったが、潮来市と大分違うところもあり、大変参考になりました。

これから早速当市の議会運営に生かせるものは生かし、市民の皆さんが安全で安心して暮らせる、“豊かで住みよいまちづくり”をするため、議会の効率的な運営に一層の努力をしてまいりたいと決意を新たにしたところであります。



議会を傍聴して



潮来市牛堀商工会女性部長
潮来市男女共同参画ネットワーク副会長

平山 千恵子 さん

平成十七年第四回潮来市議会定例会を傍聴いたしました。市議会議員の皆様には数多くの議案について慎重に審議をされています様子を拝聴させていただきました。深く敬意を表したいと存じます。

私は、平成十五年度に市の男女共同参画事業の一環で行う「第三回女性議会（模擬議会）」にいきいき議会」に参加させていただきました。女性の視点・生活者の目線で提案し、市執行部の皆さんにも真摯に取り組んでいただきました。私たち女性の視点は行政を進めていくなかでキーワードになると思いますのでぜひ、取り入れていただけたらと考えます。

今回の定例議会の通告質問に、年一回行う模擬女性議会の議案が上がつているということで、議員がどの程度関心をもたれ理解されているか興味があり傍聴いたしました。

納得した部分もありますが、もう少し政策的な視点での質疑を期待していました。

議会も執行部も潮来市の活性化についてお考えの事と思いますが、私たち商工会役員や男女共同参画の学習会等でも、水郷の郷として水辺の空間を広域的に生かし、潮来市、佐原市、鹿嶋市が一体となり取り組んでいくことができないものか等話し合っています。また、せっかく、東関東自動車道のインターがあり、素通りされたり日帰り観光に甘んじるのではなく、都心から約一時間少しで来ることができる観光地、癒しの地として昔の潮来のように宿泊してもらいにはどのような観光が望まれているか話し合います。

いま、社会は地方分権が進み「小さな政府」が打ち出され行財政改革等と、地方にとっては非常に厳しい

時代です。だからこそ、民と官の融合で市民が行政と協働で取り組むまちづくりを実現していきませんと、地方自治体も生き残れない時代がきました。行政サービスにも限りがあると思いますので、後は私たち市民の力です。そして、議会におかれましては、このような時代にあるべき議会、また、潮来市にとって何が重要か良く見極めていただき、まちづくりの体制や環境づくりを構築していただきたいと思います。

最後に、市議会及び執行部の皆様には不躰な筆を執りましたこと、失礼をお許しください。これからのますますのご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

編集後記

皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年は、JR西日本の脱線事故、航空機トラブルの続出、マンションなどの耐震強度偽装、そしてアスベスト健康被害や女児殺人事件等、振り返ると日本の安全神話が大きく揺らいだ一年でありました。

本年は、こうした日本社会全体へのシグナルを真摯に受けとめ、安全安心の構築に向け、地域ぐるみで知恵を出し合い、協働する時代に入ったと痛感いたします。

さて、平成十七年十二月の第四回定例会も多くの議案を採択し終了しました。議会広報編集委員会の任期は、今号の「議会だより」をもって完了となりますが、この二年間皆様からのご提言とご支援をいただきながら、愛され親しまれる誌面作りに励んで参りました。誠にありがとうございました。

次号から、新委員による編集となりますが、より一層の御指導、御鞭撻の程をよろしくお願いいたします。（柚木 巖）

議会広報編集委員会

委員長	栗飯原 治雄
副委員長	内田 正一
委員	篠塚 貴美子
	柚木 巖
	吉川 俊